

(全国統一安全就業スローガン 令和2年度)

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

41

号

静岡県シ連だより



焼津市立保育園：大井川・小川・旭町・石津保育園年長児及びかるがも放課後児童クラブ大住・小川へ会員手作りマスクを寄贈しました。その後、放課後児童クラブかるがも大住・小川よりお礼のお手紙が届きました。

目次

●会長挨拶、連合会定時総会報告 他	2	●福祉・家事援助委員会報告	6
●安全・適正就業推進委員会報告	3・4	●セミナー・技能講習の開催	6
●就業開拓委員会報告	5	●地域のシルバーセンターだより	7・8
●普及啓発委員会報告	5	●編集後記	



(公社)静岡県シルバー人材センター連合会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5番地の1(静岡県勤労者総合会館4階)
TEL<054>254-7240 FAX<054>205-4540 E-mail shizuren@sjc.ne.jp
発行日 令和3年3月1日 発行人／深田 勝

会長挨拶



(公社)静岡県シルバー人材センター連合会

会長 深田 勝

令和2年6月22日(月)の理事会において、会長に選任されました深田でございます。図らずも会長の大役を仰せつかることとなり、責任の重さに身の引き締まる思いでございますが、皆様方の御支援、御協力のもと本連合会の発展に最善を尽くしてまいりますので、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピック開催への期待から一転、私たちの生活も様々な制約を受け、思いもよらぬ一年となりました。

新型コロナの第3波(まつこ)にきてやや改善の兆しが見られてきましたが、医療提供体制は未だ厳しい状況に置かれており、先が見えない不安な日々を過ごしております。

本連合会といたしましては、まずはシルバー会員やセンター職員及びその御家族の皆様の安心安全を第一に考え、できる限りの感染防止対策を講じてまいりましたが、残念ながら1月末の時点で、シルバー会員6名の感染が確認されました。

また、社会経済活動が停滞する中、12月末時点のシルバー会員数は、昨年度末に比べて400人ほど減少しており、シルバー事業の実績も、前年度の12月期に比較して約7%の減少と、厳しい事業運営を迫られています。

こうした中、本連合会では、新規会員の確保や新たな就業先の開拓などシルバーの抱えている課題解決に向け、技能講習等を通じた会員獲得に向けた取組や就業の幅を広げるための担当職員の活動などを積極的に展開するとともに、アフターコロナを見据えた新しいシルバーの就業の在り方についても模索していくないと考えております。

今後も、各地域のシルバー人材センターとさらに連携を深め、この難局を乗り越えてまいりたいと思いますので、どうぞ皆様方には、引き続きシルバー事業の活性化のために御尽力賜りますようお願い申し上げます。結びに、会員の皆様のますますの御健勝と御活躍を祈念申し上げ、御挨拶いたします。

第40回定時総会
日時 令和2年6月22日(月)午前11時
場所 静岡労政会館5階第3会議室展示室

令和2年度の定時総会は、新型コロナの感染拡大により、例年とは異なり、会員の皆様には書面による議決権の行使をお願いし、出席者は原則として役員に限るという3密を避ける形式での開催となりました。

勝又武利前会長(沼津市SC)の挨拶の後、御殿場市SCの平野昭弘理事長が議長に選任され、令和元年度の事業報告及び決算、任期満了に伴う役員の改選について原案通り議決されました。

その後、臨時理事会が開かれ、新たに深田勝会長(焼津市SC)、瀧本典彦副会長(浜松市SC)、山崎敦常務理事(県シ連事務局長)が選定されました。

また、長年役員として御尽力いたいた勝又前会長に表彰状を関清司前理事(静岡市SC)、西村透前理事(川根本町SC)、和田輝夫前理事(掛川市SC)、北堀勝治前監事(吉田町SC)に感謝状が授与されました。

- 「新しい日常の新しいルール」忘れずに手洗い、うがいをしましょう。
- マスクを着用しましょう。ない時はティッシュやハンカチで。
- 密閉・密集・密接を避けましょう。
- 距離を保ちましょう。
- 感染しない、させない意識を持つ一人ひとりが習慣として実践していきましょう。

シルバーらしい「新しい日常」への対応

【会員の皆さまへ】

- ① 御本人または同居の家族の方の感染が疑われる場合は、センターにご連絡の上、就業を中止してください。
- ② 新型コロナウイルスに不安があり、就業先の変更や就業の中止を希望される場合は、センター担当職員に御相談ください。
- ③ 咳や発熱など体調がすぐれない時、症状を悪化させないために、また他人に感染させないために無理せず休むようにしましょう。
- ④ 就業にあたりましては、マスクの着用(特に人の対面時)や他者との密接を避けるなど対応をお願いいたします。
- ⑤ 個人のお宅に行かれてお仕事をされる方は、必ずマスクを着用し、アルコール消毒または石鹼による手洗いをしたうえで作業を行いましょう。まずは、センター担当職員へ連絡・相談・報告を…



全国統一安全就業
スローガン 令和2年度

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

安全・適正就業推進委員会報告
(安全・適正就業推進事業)

全国のシルバー人材センターから募集し、各連合会の推薦を経て、令和2年から令和4年の安全就業スローガンが決定しました。茨城県の(公社)日立市シルバー人材センター会員の応募作品です。

⑦会員の健康管理の推進

⑥適正就業の促進及び普及啓発
⑤安全の徹底及び普及啓発

④事故防止対策の推進

- ①安全管理体制の構築
- ②適正就業推進体制の構築
- ③安全・適正就業教育の推進

(令和元年度～五年度) 安全・適正就業推進 基本計画

基本方針



安全・適正就業推進研修会

12月7日(月)に令和2年度安全・適正就業推進研修会を開催しました。例年7月の労働安全週間の時期に開催していましたが、新型コロナウィルス感染症蔓延の影響から延期となり、年末の開催となりました。11月下旬からの第3波の感染拡大により、急きよリモート講演もできるようにいたしました。

講演1では焼津市シルバー人材センターの山本事務局長と沼野次長に御登壇いただき、「死亡事故に学ぶ」というテーマで重篤事故の辛い記憶をお話しいただきました。参加者アンケートには、「現場のリアルな声が大変参考になった。」といった反響が寄せられました。

講演2はMS&ADインターリスク総研株式会社の水上敬太氏に「事故発生時の対応のポイント」について解説いただきました。平時の安全対策として「危険感受性」を高める必要性について、また、事故発生時には速やかな連絡・報告が必要となることを学びました。

内 容	参 加 人 数	場 所	日 時
講演1.「死亡事故に学ぶ」 講師 沼野 誠氏 焼津市シルバー人材センター 事務局次長 「トーケンセッション」 山本朋美氏 焼津市シルバー人材センター 事務局長 山崎 敦氏 静岡県シルバー人材センター連合会 事務局長	32名(会場25名、リモート参加7名)	静岡県男女共同参画センターあざれあ 2F 大会議室	令和2年12月7日(月)13時30分～16時

講演1.「死亡事故に学ぶ」

講師 沼野 誠氏

焼津市シルバー人材センター 事務局次長

講師 水上 敬太氏 MS&ADインターリスク総研株式会社
講演2.「事故発生時の対応のポイント」
講師 水上 敬太氏 MS&ADインターリスク総研株式会社



3密を回避した研修会の様子



講演2:講師 水上氏



講演1:講師 山本 焼津市SC事務局長、沼野 事務局次長

全国統一安全就業
スローガン 令和2年度

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

安全・適正就業推進委員会報告
(安全・適正就業推進事業)

安全適正・就業巡回 パトロール実施

令和元年度、県内のシルバー会員の中で、事故で死亡された方が4名、1ヶ月以上入院された方が7名います。事故に遭われた方やご関係の皆様にお見舞いを申し上げます。

また団体傷害保険の対象となった事故の件数は194件に上ります。ほとんどは小さな事故であるともいえますが、小さな事故には大きな事故の芽が隠れています。小さな事故や、事故にならなかったヒヤリとした体験やハッとした体験をみんなで話し合い、隠れている事故の芽を摘み取るようにしましょう。

シニアライフを生き生きと楽しむために、まずは安全を第一に。

伊東市SC 10/7(水) ゆめ工房、ゆめ市場、ふじのゆめ



テーラーの経験を活かし活躍される方や、交流の場の運営などで生き生きと就業されている様子を見学しました。

伊豆の国市SC 10/15(木) 千代田団地駐車場(草刈り)



現場リーダーとのコミュニケーションの下で、機材もきれいで整備されました。

伊豆市SC 10/15(木) 虹の郷(剪定、園内バス)



有名な修善寺の観光スポットを多くのシルバー会員が支えている様子を拝見できました。

島田市SC 10/27(火) 翔運輸(通い箱の清掃・整理)



会員の健康管理についての取組みなど、大変参考になるお話を伺うことができました。

湖西市SC 10/30(金) 萩原環境プラント(リサイクル選別) ザ・ビッグ湖西店(カート整理)



派遣と請負の2か所の就業先を見学し、安全就業の取組み、就業機会の均等を図る取組みについてお話を伺いました。

事務系職種に挑戦しませんか

就業開拓委員会報告
(就業促進事業)

草刈りなどの軽作業や車両運転が大半を占めるシルバー人材センターで事務系職種を探すやうと、県シルバー人材センター連合会が本年度、専門の推進員を任命し、地元金融機関との連携を開始した。今月、島田銀行従業員と島田市のセンターが連携した仲介の第1期として、同市役所への配置担当者の候補が決定した。シルバー人材のイメージの範囲を広げ、人手不足に悩む地元企業の課題解決にもつなげる考えだ。

県連合会 金融機関と連携



シルバー人材就業開拓 イメージ転換図る

肉体労働・経作業 → 事務系職種



取組み実績

令和2年10月(SC島田市:多機能型居宅介護等運営NPO法人に於ける会計事務)

*静岡新聞 令和2年10月6日朝刊 掲載

人手不足に悩む企業の中に単純作業以外にも事務的な業務の一々があります。一方、豊富な経験を持つた就労意欲のある高齢者も多く存在します。企業の求人ニーズ及び、高齢者の求職ニーズに応えるとともに、シルバー人材センターのイメージアップを図るため、事務系職種への就業促進事業に取組みます。(令和2年4月発足)

主な目的

求められる仕事も、望む仕事も多様化している状況下、求人・求職双方のニーズに合わせた、新たな仕事の開拓に努め貴重な人材を有効に生かします。

具体的な取組み

- ◎県内の信用金庫等金融機関、商工会、行政関係の高齢者支援団体等に対し、センターのPRを強化するとともに、就業開拓の協力関係を構築します。
- ◎高齢者活躍人材確保育成事業と連携し、新規職種等に対応する技能講習会を開催します。
- ◎各種団体が開催するセミナー、説明会等においてシルバー事業のPRを展開します。
- ◎求人情報等を関係センターに提供し、就業の橋渡しを行います。

令和2年度「シルバーの日」の取組み

普及啓発委員会報告
(普及啓発事業)



啓発品
[マスクケース]



10月19日(土)
普及啓発活動(沼津市SCC)の風景

毎年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」(第3土曜日・シルバーニの日)として、連合会と各センターにて県下一斉にさまざまな普及啓発活動を展開することに取組んできました。しかしながら、本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る様々な活動を制限される厳しい状況におかれました。こうした中、未入会の高齢者、とりわけ高齢者人口の割合等からみて会員拡大の余地が大きい女性に対して、シルバー人材センター事業を周知し入会を勧誘する活動が重要と考え、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分留意したうえで、各センターが知恵をしぼり啓発品(マスクケース)やチラシなどを活用し可能な範囲で活動を実施しました。

来年度は、新型コロナの感染の収束のもと、県下一斉に内容の濃い活動が実施できることを期待しています。

女性が輝くシルバーを目指して

福祉・家事援助委員会報告
(福祉・家事援助事業)



委員会の様子



女性会員数・割合が増えているところは会員全体が増加傾向にありますが、女性会員の増加が必要しも福祉・家事援助の増加につながる関係性は明確ではありません。

かつては女性の特技を生かせる仕事＝福祉・家事と思われていましたが、時代が変化するにつれ、すべての女性が福祉・家事を希望するわけではなく、敬遠する人も増えてきています。

こうしたことから、当委員会を発展的に解消し、「女性会員の拡大を図ること」や「女性役職員の活躍を推進すること」を目的とする委員会に転換することとします。

そのため、令和3年1月末に先進的な取組みを開催している愛知県シルバー人材センター連合会伊藤容子会長をお迎えして、担当者の意識改革を図るためにグループワーク形式の研修会を予定しましたが、残念ながら新型コロナの影響で延期となってしまいました。

次年度中に、事業の方向性や具体的な活動内容などを検討を進め、新たな委員会としての立ち上げを目指していきます。

令和2年8月7日に第1回委員会を開催、これからの福祉・家事援助委員会の方向性・取組について協議しました。

女性会員数・割合が増えているところは会員全体が増加傾向にありますが、女性会員の増加が必要しも福祉・家事援助の増加につながる関係性は明確ではありません。

地域社会を担うあなたのちからを待っています

(高齢者活躍人材確保育成事業)

(1)シルバーに関する周知・広報

内容	実施市町	実施回数
1 終活セミナー	伊豆市SC	1
2 駅ポスター掲示	全県(108駅)	1
3 広報紙、パンフレット同梱	15商工会議所	1
4 新聞、県民だより広告掲載	全県	9
5 活きいきマークセミナー	2SC	2
6 バナー広告	県公式HP	

(2)就業体験、見学会

内 容	実施市町数	実施回数
1 農園管理	1	1

(3)技能講習

内 容	実施市町数	実施回数
1 植木の剪定	14	10
2 刈払い機	14	9
3 育児・子育て支援	3	3
4 清掃スタッフ	3	3
5 駐車場スタッフ	4	3
6 介護・福祉家事援助	7	8
7 経理事務スタッフ補助	3	6
8 筆耕・スマートフォン	5	5
9 マンション管理人他	4	4
合 計	57	51

(2月末現在)

[令和2年度の取組み]
①多くの受講者を確保するため、近隣SCが共同で講習を開催しています。
②講習終了後の意欲的なタイミングを逃さず入会に結びつけるため、できるだけ講習終了後速やかに入会説明会(オリエンテーション)を開催しています。
③会員としての経験談を伝えるため、ヘテラン会員に講師をお願いすることもあります。
④職種転換を希望する会員や未就業の会員も受講することが可能です。

※次年度も高齢者活躍人材確保育成事業を実施しますので、職種転換を希望される会員、未就業の方は是非、御参加下さい。



御前崎市SC 刈払い機取扱い



磐田市・袋井・森地域SC 植木の剪定



島田市SC 清掃スタッフ養成



静岡市SC やさしいビジネスマナー・接遇

[高齢者活躍人材確保育成事業とは]

高齢者活躍人材確保育成事業(厚生労働省静岡労働局委託事業)では、地域の高齢者や企業がシルバーに関心を持つよう積極的な周知・広報や、実際の就業体験等を通じて高齢者、企業双方のシルバーに対する理解を深めるとともに、高齢者がシルバーに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な育成技能講習を行うなどシルバーの新規会員、新たにシルバーを活用する企業を増加させる取組みを進めています。



地域のシルバーセンターだより

静岡県内からユニークな活動をしているセンターをご紹介します。



お飾り作りの活動で 地域と交流



小山町シルバー人材センターでは正月飾りづくりにいそしんでいます。春の稻の育苗から、田植え、稻刈り、十一月から製作にかかり、お飾りの販売まで手掛け、九か月の作業になります。新年をすがすがしい気持ちで迎えてもらおうと毎年取組んでいる恒例事業ですが、既製品の正月飾りとは違う味わいに年々注文が増えています。当初は会員向けの販売でしたが、平成二十二年に会員有志の「お飾り作り委員会」を



発足させて、現在は、会員十六人が玄関飾りと神棚飾り(けいぼうじめ)、さらに、住宅事情に合わせて輪飾りやリースなども製作しています。また、お飾り作りの講習会は会員対象だけでなく、地域に出かけて出前講習会を開催して、伝統を継承しています。

会員をはじめ企業や官庁、町内外の住民に注文販売を行い、年々事業が拡大して、昨年は二百四十件の注文になりました。作業は、農作業も含めてなかなか大変ですが、伝統工芸を絶やさないように頑張っています。

古着をベストに、また、バッグなど小物にリフォームするなどの事業も行っています。

この事業が、さらに独自事業である子供向け英会話教室「英語で遊ぼう」の開催、市民や会員の交流の場としての「シルバー交流サロンふじのゆめ」のオープン、パソコン教室「ゆめ追い塾」などにつながっています。昨年からのコロナ禍で、活動は制約されていますが、早く普通の生活に戻り交流が図られることを期待しています。



商店街に 衣服リフォームショップ

平成十一年に、「ゆめ工房」を設置して伊東市シルバー人材センターとして初めての独自事業を行っています。行政や商店街が進める空き店舗の活用事業の一環として始めたものですが、住民の生活ニーズに応え、環境問題にも関心を持つもらえる事業です。会員である店長と四人のスタッフが職人気質の確かな技術でお客様の要望に応えています。サイズ変更や仕立て直しだけでなく、





卒業証書も表彰状もお任せ



静岡市シルバー人材センターでは様々な業務を行っていますが、中でも表彰状や卒業証書などに文面や氏名を筆写する筆耕業務は、筆耕作業グループ二十人が活発な活動をしています。

センターでは十三年間にわたり静岡市立小・中学校卒業生全員の卒業証書の筆耕を請け負い、令和元年度には約一万八百枚を作成しました。筆耕は集中力、緻密さ、また根気が必要な仕事であり、卒業生名簿から字体、はね、と認めなどの筆遣いをひとつひとつ確認して卒業証書に氏名を書いたり、家主に代わって建物の状況や、雑草繁茂、不法投棄等がないなど敷地の状況を確かめて、依頼者に写真付で報告します。令和二年十一月二十日には湖西市と空き家等の管理の推進に関する協定を締結しました。今後市との連携をさらに深めて事業に取り組んでいきます。また、地元のスーパーに協力いただき店が遠くで買い物に行けない、重い物が持てないなどの方に代わって食料品や生活必需品の買い物を代行します。雨の日や寒い日でも買い物を代行してもらつて助かっているとの声を聞きます。高齢社会において多種多様な仕事への期待が高まっており、利用者の皆様から信頼され、期待に応えられるように事業展開を進めていきたくと考えています。



勉強会開催中

最近ではパソコンでの印刷も増えてきていますが、実用書道と言われた県民栄誉賞表彰状の筆耕はセンターが続けて依頼を受けており、会員の確かな技術が認められています。



編集後記

新型コロナウイルス感染症がいまだ収束していません。新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、マスクの着用、手洗いと咳のエチケットです。みなさんも日頃から感染病予防に気を配るとともに、最前線でコロナの対応にあたっている医療従事者のみなさんに感謝しましょう。そして一日も早く、コロナが治まり“新しい日常”があたり前に受け入れられる日がくることを祈っています。



空き家管理や 買い物代行でお手伝い



湖西市シルバー人材センターでは、子育て支援、介護予防、日常生活支援総合事業、空き家管理など時流に沿った事業を手掛けています。空き家見守りサービスは、家主に代わって建物の状況や、雑草繁茂、不法投棄等がないなど敷地の状況を確かめて、依頼者に写真付で報告します。令和二年十一月二十日には湖西市と空き家等の管理の推進に関する協定を締結しました。今後市との連携をさらに深めて事業に取り組んでいきます。また、地元のスーパーに協力いただき店が遠くで買い物に行けない、重い物が持てないなどの方に代わって食料品や生活必需品の買い物を代行します。雨の日や寒い日でも買い物を代行してもらつて助かっているとの声を聞きます。高齢社会において多種多様な仕事への期待が高まっており、利用者の皆様から信頼され、期待に応えられるように事業展開を進めていきたくと考えています。